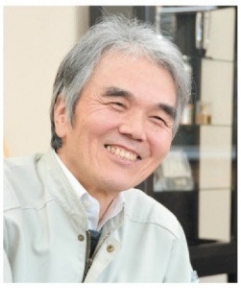
飛騨産業株式会社



代表取締役社長 岡田 贊三氏

伝統を大切に国産家具産業の振興を

―昨年は好調でしたね。

売上は前年比122%。社長に就任した1年前の倍になりました。杉の圧縮柾目材を使ったダイニングチェアがグッドデザイン賞の金賞を受賞し、社員の板屋被天さんが現代の名工に選ばれるなど二つの大きな貢もいただきました。特にグッドデザイン賞は、大賞候補の9つの中に入り、デザインと技術の両方が評価されました。

―今年の抱負は。

技術力や人材力を強化していきます。昨年は生産に追われましたが、受注が「踊り場」を迎えた今は、中身の充実や生産効率の向上、ニーズにあった商品開発などに取り組みたい。弊社工場で家具づくりを学ぶ「飛騨職人学舎」を昨年開校し、5人の在校生たちは、腕を上げ全員入社してくれそうです。職人になるという覚悟を入ってきているだけに、従業員にも良い刺激になっています。

―今後の森林資源の活用は。

高山は93%が森林。地域のためにも森林資源を有効利用すべきです。グッドデザイン賞を受けた椅子のような家具だけでなく、長年培った曲げ木を応用した圧縮技術で地元の杉板を使ったフローリングの生産に取り組んでいきたい。旭川と並ぶ一大産地として、国際的な家具見本市にも参加し、盛り上げを図っている。飛騨木工連合会が秋に開く最大のイベント「飛騨の家具フェスティバル」の今年のテーマは「伝統を生かす」。「温故知新」という言葉もあるが、古くからの伝統と自分たちが新たに作る伝統、そこから議論し方向性を決めた。

―家具業界の展望は。

高級な北欧の家具と安価な東南アジア製の製品との板ばさみに苦しんでいます。業界団体に働きかけ、国産家具産業の振興に取り組みたい。旭川と並ぶ一大産地として、国際的な家具見本市にも参加し、盛り上げを図っている。飛騨木工連合会が秋に開く最大のイベント「飛騨の家具フェスティバル」の今年のテーマは「伝統を生かす」。「温故知新」という言葉もあるが、古くからの伝統と自分たちが新たに作る伝統、そこから議論し方向性を決めた。

GOOD DESIGN AWARD 2014 グッドデザイン金賞

会社概要

〒506-8686 高山市漆垣内町3190
TEL.0577-32-1001

創　業　1920年8月
資本金　3億円
従業員数　421人（男子304人・女子117人）
※2014年12月1日現在
事業内容　家具・インテリア用品の製造販売
自然エネルギーによる発電事業
林業・製材業
事業所　北海道工場・上宝製材工場
ショールーム　飛騨の家具館（高山・東京・名古屋・大阪・福岡・仙台）
その他　「ISO9001:2008」「ISO14001:2004」を認証取得

http://kitutuki.co.jp

ひだしん 飛騨信用組合

会長 林 謙三氏

世の流れをつかみ、新しい事業に挑戦

昨年、大学進学者を対象にした公益財団法人「ひだしん育英会」を設立しました。これは、飛騨・高山地域にUターン就職してもらう事業として欠かせません。人口が減少する中、地域の雇用の確保は大切です。また、当組合は全国の信用組合で唯一「ふるさと投資」連絡協議会の構成員に選出されており、インターネット上で小口投資を募るクラウドファンディングの手法を活用した地域経済の活性化について力を入れていきます。新たに設立した子会社による「飛騨・高山地域活性化ファンド」を含め、幅広く地域支援に取り組んでいきます。

―人材育成、組織の活性化についてはどのように考えていますか。

組織運営上で大切なことは、経営陣と職員の方向性を同じにすることです。また、世の中の流れをつかむためには、若い職員の意見を採用して新しい事業に挑戦していかなければなりません。セクションの垣根を越えたプロジェクトチームを作って力を合わせれば、リスクがあることでも成功するはずです。

―地域活性化への指針は。

現在、当組合の貸出金残高は895億円ありますが、信用組合というものは地域の人たちと共にどう発展していくかを常に考えていかなければなりません。飛騨・高山地域のマーケットにこれだけの資金を供給できるかがカギで、それによって地域経済を浮揚させ、飛躍させることが我々の役割だと考えています。

概　要

〒506-0009 高山市花岡町1丁目13番地1
TEL.0577-32-1080

設　立　1954年9月
組合員数　26,684人
出資金　3億円
預　金　2,183億円
貸出金　895億円
役職員数　184人
事業内容　預金業務、融資業務、為替業務
店舗数　16h店（他に店頭外ATM19h所）
（2014年9月末現在）

http://www.hidashin.jp

社会医療法人 鉄西厚生会 松波総合病院

理事長 松波 英寿氏

幅広い医療のニーズにお応えします

―昨年オープンした新館「ノースウイング」の特長は。

建設の主な目的は旧館（サウスウイング）の老朽化への対応のほか、性能に比例して大きくなる新型医療機器のスペース確保、病床数増加です。特長は、まず2台ある血管造影装置のうち、1台を最新式の装置に更新して手術室に備えました。検査をしたその場で手術が行えるハイブリッド手術室（ヘブリ）が、より安全に運用ができるようになりました。手術室数は5から8に増やし、待ち時間を短縮。手術支援ロボット「ダヴィンチSi」を使用する手術室は広さを十分にとり、環境を改善しました。病室1室あたりの病床数を6から4に減らし、患者さんの快適性は高まったのではないかと思います。引き続きサウスウイングを改修しており、今春には療養に重点をおいた病棟と老人保健施設を併せた施設として使用を開始する予定です。

―新年の抱負をお聞かせください。

日々の医療に対し真摯に向き合うことは言うまでもありません。前述のごとく患者さんの療養環境が より良くなり、ハイブリッド手術室、ダヴィンチ、最新式のMRI、CT、内視鏡等が完備されたことにより、より充実した高度な医療を地域の方々に提供したいと思います。また、回復期リハ病棟、障がい者病棟、地域包括ケア病棟が開設されることにより、超急性期のみならず、慢性期に至る幅広い患者さんの要求にこたえていきたいと思います。また、私どもは、昨年に「まつなみリサーチパーク（MRP）」を開設し、研究にも取り組んでいます。すでに複数の特許を申請し、特に肥満治療に関する研究に力を注いでいます。今年は朝日大学との共同研究も実現し、より深化を図ります。

―医療制度改革が議論されています。

日本の医療は変革期にあり、医療費が伸び続ける一方、医師の偏在という問題を抱えています。開業医の多い都市部ほど、国公立病院が複数あったりする。高い視点からの統廃合は不可欠です。日本の再生を持続的なものとするためには官民一体となっての問題に取り組むべき思い、時代に即した新しい医療の在り方を考えています。

病院概要

〒501-6062 羽島郡笠松町田代185-1
TEL.058-388-0111

沿　革　1902年／岐阜市加納に松波病院を開設
1933年／笠松町に松波外科医院を開設
2014年／7月新館（NORTH WING）開館
従業員数　1,157人
事業内容　理事長／松波 英寿（社会医療法人 鉄西厚生会）
松波総合病院 病院長／山北 宣由
まつなみ健康増進クリニック クリニック長／村井 敏博
介護老人保健施設 諸設長／宮崎 青岡
まつなみリサーチパーク 所長／林 慎

http://www.matsunami-hsp.or.jp

株式会社 水生活製作所

代表取締役社長 早川 徹氏

今後5年で売上倍増、賞与も倍増へ

―昨年は1月に創業60周年を迎えられました。

消費増税前の駆け込み需要もあり、前期は売上、利益ともに過去最高となりました。その後も海外輸出が好調であり、現在のところは前年の業績を上回っています。運が良く、また お客様や取引先に恵まれ、社員の努力も実り、過去5年間で売上は倍増しました。創業60年という節目を迎え、再度「今後5年で売上倍増、賞与も倍増」という目標を立てました。大変難しいことですが、オリンピックをリニア計画など国の大きなイベントもあります。昨年3月には金型製造とプラスチック成形を行う工場が完成し子会社から製造を移管。新技術、新製品開発に力を入れています。海外向けの浄水、節水商品とともに、この分野に力を入れることで、消費増税等に影響されにくい体質をつくりたいと考えています。

―自社ブランドのさらなる商品展開も楽しみです。

家電量販店様などでお売りいただいている節水製品、そして、最近は免税店様などで海外のお客様に好評を得ている浄水器関連、またエクステリア関連業者様にお買い上げいただいているガーデニング関連。この3つのカテゴリーで自社ブランドを展開していますが、今後も更に、最終ユーザー様に製品を見ていただける場所への露出を増やして行きたいと思います。これからは製造面での工夫、改善だけでなく売拠点やスタッフも増やしつつあります。新たな時代の波に乗っていくためにも、変化を続けていくつもりです。

本年も宜しくお願い致します。
平成二十七年 元旦

会社概要

〒501-2104 山県市東深瀬94-2
TEL.0581-23-4132

創　立　1954年1月
設　立　1983年12月
資本金　7,800万円
従業員数　160人
事業内容　①給水機器、配管資材類、浄水器類の設計、開発、製造、販売②化粧品の製造、販売③都各号に附帯する一切の業務
事業所　美山工場（山県市佐野）、鏡金事業部（同）、樹脂工場（同）、関東営業所（東京都港区）、関西営業所（大阪市西区）、上海水生活貿易有限公司（上海市）、美山鋳造（山県市佐野）、三晶化学工業（福島県郡山市）
関連会社

http://www.mizsei.co.jp

明治安田生命保険相互会社

岐阜支社長 中村 敏郎氏

人員の増強でアフターフォローを強化

―2014年はどのような年でしたか。

もっとも印象に残るのは9月の御嶽山の噴火でした。被災された方には本当に胸が痛む思いです。私どもは生命保険会社の社会的使命として、お亡くなりになった方の契約の有無の確認ご遺族への手続きに関する連絡を東日本大震災の教訓も踏まえ、円滑に進めることができました。

また、9月から会社全体で「地域を見守る」社会貢献活動」を開始しました。従来行っていた子どもの見守り活動の対象を高齢者にも広げ、日々地域を回る営業職員が暮らしの安心安全に心を配るものです。岐阜支社でもご契約者のうち90歳以上の方の安否確認を実施しており、一部自治体と見守りに関する協定を結んだりするなど取り組みを進めています。

―2015年の重点目標とは。

インターネットや通信販売など保険の販売方法が多様化するなか、私どもは対面によるアフターフォロー体制の強化も念頭に置いています。

―販売に力を入れる商品はありますか。

今年は税制改正があり、課税対象者が増えると見込まれる相続税対策に関心が高まっています。保険を活用して対策を行われる方もおり、ご提案に努めます。また、将来不安の一つとなっている介護が必要になった際に役立つ保険は浸透の余地も大きく、力を入れていきます。

―地域貢献活動について。

今年も小さな献切運動クリーン作戦やオーク10などに社員が参加します。また、当社は昨年リーグのトップパートナーとなりましたので、地域に根差し、地域とともに発展するというリーグの趣旨に賛同し、ともに活動していこうと考えています。岐阜市で1月31日にサッカー教室、2月13日に元プリーガーの中西哲生さんによる講演会を開催します。地元のFC岐阜も積極的に応援していきたいと思っています。

明治安田生命
進化する保険
ベストスタイル
岐阜支社：〒500-8842 岐阜県岐阜市金町4-30
明治安田生命岐阜金町ビル9F
TEL 058-265-0401

会社概要

本　社　〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
岐阜支社　〒500-8842 岐阜市金町4丁目30
TEL.058-265-0401

創　業　1881年7月9日
総資産　35兆220億円（2014年9月末）
事業内容　各種生命保険の引受・保全、資産の運用などの生命保険業および付随業務など
従業員数　37,961人（うち営業職員「MYライフプランアドバイザー」29,595人）（2014年9月末）
保険料等収入　1兆8,069億円（2014年4～9月）
営業拠点数　支社74、営業部・営業所等986、法人部18
子会社　明治安田損害保険㈱、明治安田生命保険サービス㈱、明治安田システム・テクノロジー㈱ほか
関連会社

http://www.meijiyasuda.co.jp

無断複製・転載を禁じます